

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部1年	児童文化Ⅱ～1	掃守 純一郎	
サブタイトル	人形劇の理論と実際	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
<p>保育の現場で用いられる児童文化財の中で「人形劇」に着目し、製作方法や劇的な表現の技術を体得する。劇遊びの総合的な学習として、基本的な舞台の名称や脚本作りを学ぶ。</p> <p>① 幼児を取り巻く文化・文化財について学び、保育現場で幼児とともに楽しむことができる。</p> <p>② 劇的な表現を体験することで、幼児が行う「劇遊び」を援助する力を身につける。</p> <p>③ 人形劇の人形や小道具などの製作方法や劇的な表現の演じ方を体得している。</p> <p>④ 製作を行う際に、自分の創意工夫を加え、幼児に適した教材作りを考察できる。</p>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>① 幼児教育に対する情熱及び責任感を身につけている。</p> <p>② 専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている。</p> <p>③ 多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につけている。</p> <p>この科目はカリキュラムマップの「保育内容・方法を身につける」1年次の科目として位置づけられている。</p>			
授 業 の 方 法			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面授業で行う。 ・ 個人の製作とグループワーク（発表を含む）を行う。 ・ 欠席者や予習・復習に対応するため、Teams に授業内容と解説を記載した資料を掲示する。 			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『手づくり人形劇ハンドブック—子どもといっしょに楽しむ劇表現の世界』 幸田眞希・掃守純一郎・金城久美子共著 萌文書林 2016年</p> <p>：『保育者のための言語表現の技術—子どもとひらく、児童文化財をもちいた保育実践』 古橋和夫編著 萌文書林 2016年</p> <p>参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017年</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<p>個人での製作・レポート、グループワーク（発表）について</p> <p>② 児童文化、児童文化財の理解</p> <p>③ 製作物における表現の工夫</p> <p>④ グループでの積極性、協調性</p> <p>以上を考慮して総合的に評価する。</p>		レポート	10%
		実技試験	40%
		実技・作品など	30%
		授業への貢献度	20%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>積極性をもって授業に取り組む。欠席をしない。</p> <p>毎回配るプリントに絵本を2冊以上読んだ感想を書いて、次回必ず提出する。</p> <p>返却されたプリントはA4ノートに貼る。</p>			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1回	【ガイダンス】受講上の注意事項、15回のスケジュール。 *絵本を毎週2冊以上読むレポート課題がある。 封筒を使った人形のデザインを考える。	想像力 集中力
2回	【講義】児童文化と児童文化財について。 【封筒人形の製作】身近な素材を使った人形の製作方法を学ぶ。 封筒の形状を利用した造形表現を考察する。 折り紙・色画用紙を用いて人形に色を付ける。	表現力 創造性
3回	【球体人形の製作】 球体の発泡スチロールを使い、人形の頭(かしら)の製作方法を学ぶ。動物の特徴を捉え、幼児が見て分かる造形を工夫する。 製作用具の安全な使い方を学ぶ。	表現力 色彩感覚
4回	【頭の完成】 頭にタオルを貼る。幼児の色彩に対する興味関心を考慮し、色の組み合わせを工夫する。ケント紙で首の管を作る。 起承転結に基づく話を考える。	表現力 構成力
5回	【人形の完成】 頭、首管、胴体を縫い合わせ、人形を完成させる。 自分の人形を主人公にした話を考える。	創造性
6回	【舞台の説明、台本検討】 舞台の基本的名称を学ぶ。 各自のあらすじを基に、オリジナル、または既成の話からグループの台本を相談する。	文章力 協調性
7回	【保育の場での人形の使い方・台本の完成】 完成した人形を使って保育の場での使い方を学ぶ。 グループ内の話をもとに、セリフ、ト書きを考え台本に仕上げる。	表現力 協調性
8回	【人形操作の説明、台本の読み合わせ】 基本的な人形の操作を学ぶ。 台本を読み合わせて、動き、セリフを検討する	表現力 集中力
9回	【人形劇の練習①】 台本の読み合わせを行う。 幼児に分かりやすいセリフ、構成を考える。 人形を動かしつつ立ち稽古を行う。	表現力 協調性
10回	【人形劇の練習②】 音楽、小道具を使って本番を想定し練習する。 幼児が対象であることを意識する。 スムーズな進行を心がけ、楽しく演じる。	表現力 協調性
11回	【人形劇の発表と講評】 幼児の前での発表を想定しながら元気な声で行う。 発表後、講評を聞いて各自の発表を振り返る。	表現力 協働する力
12回	【発表の振り返り】 発表のビデオを見て、客観的に自分の発表を見る。 子どもの劇遊びとの関連を学ぶ。	表現力 主体性
13回	【絵本の説明と実践】 絵本の特徴、種類を学ぶ。子どもの前での読み方を学ぶ。 絵本と紙芝居の違いを学ぶ	想像力 探求心
14回	【紙芝居の説明と実践】 紙芝居の特徴を学ぶ。紙芝居を実演し、発声の仕方、間の取り方、特に抜き方の工夫を学ぶ。	表現力 想像力
15回	【授業の振り返り・まとめ】 授業の振り返り、手あそびの確認。 ノートの確認、	探求心 好奇心
試験	評価の要点に基づき実施する。	

